※令和４年度以降入学生用

学校番号	3016

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　標準文学国語　（第一学習社）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・文学作品や言葉に触れることにより、他者と関わりや、社会で必要な語彙力の向上を図る。
・文学を読み味わえるような思考力・想像力を身に着け、自らの考えを的確に伝えられるよう、課題に取り組ませること
・漢字ワークを自学自習しながら、小テストを通してできるだけ多くの漢字の習得をさせる。
・提出物の期限の守り、定期考査に向けて学習計画を立てて臨むこと。

２　学習の到達目標

(1)社会人として必要な国語力の基礎を構築する。
(2)言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて発揮できる。
(3)文学に親しみ、他者や社会に関わろうとする態度を育んでいる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	文学的な文章やそれに関する特徴、修辞技法や語彙などについて知識を深め、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。	文学的な文章の構成や展開、表現の仕方を的確にとらえ、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義を理解し、言語文化の担い手として言葉を通して他者に関わろうとする態度を養っている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	「ナイン」 井上ひさし	登場人物の発言から表に現れない心情を読み取り、人間の関係性の深浅ついて考察する	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b：「書」：文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。 c：場面の移り変わりや登場人物の発言を粘り強く読み取り、それぞれの人間関係を捉えようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 課題提出 観察 定期考査	ワークシート 課題提出 観察 振り返りシート
	「山月記」 中島敦	表現の特徴が作品に及ぼす効果を考え、人が虎になるという怪異の意味をふまえて作品の主題を考える	a：文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用している。 b：［書］：文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。 c：典拠となった文章と粘り強く読み比べ、主題の違いや作者の工夫をまとめようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 課題提出 観察 定期考査	ワークシート 課題提出 観察 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

二学期	「こころ」 夏目漱石	物語の展開と出来事を整理しながら、「私」と「K」のそれぞれの心情をつかむ	a：人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている b：［書］：文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 c：指定された場面を、本文とは異なる視点から書き換える活動に積極的に取り組み、解釈を深めようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 課題提出 観察 定期考査	ワークシート 課題提出 観察 振り返りシート
三学期	「卒業」 魚住直子	仕事に向き合う態度と友人への思いがどのように変化するかを捉え、主人公にとっての「卒業」の意味を考える	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c：寿々をめぐる人間関係について、共感できる表現を積極的に探し、その理由をわかりやすく発表しようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 課題提出 観察 定期考査	ワークシート 課題提出 観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間
・書くこと　…　（　１５　）時間
・読むこと　…　（　６０　）時間